

地域の基幹病院として、患者様の健康に役立つ情報を!

T.M.P.H. ニュース

【東京警察病院オリジナル広報誌】

2010
SEP
vol. 2



救急科スタッフ▲



区民健康講座風景▲



病院機能評価受審風景▲

Tokyo Metropolitan Police Hospital News

第2号の目次 Topics

- 1 **ごあいさつ** Message 東京警察病院 院長 白井徹郎
- 2 Report | 救急科(救急センター・集中治療センター)のご案内
- 3 Report | 区民健康講座のご報告と次回のご案内
- 4 Report | 病院機能評価受審報告
- 5 Case Study 01 | **第1回** お見舞いマナーの紹介
- 6 Report | お見舞いメールのご案内

1 ごあいさつ Message

どのように立派な施設、最新の医療機器を備えたとしても、「人を診ない医療」は医療とはいえません。

東京警察病院は、82年の歴史を有し、歴史の中のさまざまな局面で、その社会的使命を果たしてきた伝統ある病院です。

平成20年、千代田区飯田橋から中野区に新築移転して以来、地域の皆様のご支援を頂きながら、地域の中核病院としての基盤を築いてまいりました。

これまで多くの方にご利用を頂くとともに、「地域になくはならない病院」とのご声援を賜っておりますことは、誠に名誉であり光栄とするところであります。

皆様のご声援に応えるためにも、「真に地域のために貢献するのはこれからだ」という決意の下、全職員、ますます士気を高めて頑張りたいと思います。

当院は、都心であるにもかかわらず、緑豊かな環境と、他にも羨ましがられるような素晴らしい施設、そして最新の医療機器と優秀なスタッフを有しております。

しかしながら、医療に携わる者が決して忘れてならないのは、「医療は患者さまのためにある」ということであり、私たちの仕事は「人を診る仕事」であるということです。どのように立派な施設、最新の医療機器を備えたとしても、「人を診ない医療」は医療とはいえません。

東京警察病院は、「患者さまのためにある病院」、「人を診る病院」であるために、職員一人ひとりが、医療の質を高め、患者様に「安心と満足」をお届けするために、日夜努力してまいります。そして、多くの方々との触れあいの中で「自分自身が人間として育つ」ことを願いながら日々研鑽してまいります。

財団法人自警会
東京警察病院 院長
白井徹郎



今後も、次の方針により、医療環境を整えてまいる所存ですので、更なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

1. 救急医療の更なる充実強化に努めます。

当院における平成21年度の救急車による搬送は4,986件で、この他にも一般救急患者8,489件を受け入れております。

今後も、緊急時の診療要請に可能な限り対応し、地域の皆様に安心して受診して頂けるよう、更に救急体制を充実強化してまいります。

2. 最新の医療機器と専門チームで、高度医療を提供します。

「がん」「脳卒中」「急性心筋梗塞」「糖尿病」の4大疾病、その他の重篤な疾病に対し、当院が保有する最新の医療機器を駆使し、早期発見・早期治療に向けて、専門医療チームが対応しております。

3. 地域医療機関との協力体制を更に強化します。

地域医療を充実させるためには、医療機関相互の連携が不可欠です。当院では、地域の多くの医療機関と連携をとって、効果的な医療を実践しておりますが、今後も、それぞれの専門性を活かし、ともに「医療の質の向上」を図ってまいります。

4. 職域病院として、医療を通じて社会の安全に寄与します。

東京警察病院は、歴史的社会的な事象の中で、医療の面から社会的役割を果たしてまいりました。当院は、警察職員の健康維持はもちろんですが、社会的使命を自覚し、災害その他、緊急時の備えをしてまいります。



東京警察病院
Tokyo Metropolitan
Police Hospital

東京警察病院の頭文字「T」をモチーフに、3つの「意味」を込めてつくられました。

Thoughtful(ソートフル).....患者様の立場に立った医療を目指していきます
Technical(テクニカル).....医療レベルの向上に努めていきます
Trustworthy(トラストウォーシイ).....皆様の信頼に応えていきます

私たちは、常に、より高度な医療技術の習得に励み、最新の医療設備・医療機器を駆使して、患者さまに満足していただける医療を提供しております。
地域の基幹病院として、地域のみなさまに安心していただける様、地域の医療機関と連携し、地域医療の発展に貢献してまいります。

Report 1 救急科(救急センター・集中治療センター)のご案内

救急科は、4名の医師を中心に救急センター、救急病棟(20床)、集中治療センターをホームグラウンドとして診療に当たっています。



● 医師と救急センター・集中治療センターのご紹介

救急科の医師を紹介します

部長 兼 救急センター長
切田 学



専門
領域

救急医学全般 災害医学 多発外傷
腹部救急疾患 重症患者の代謝栄養
阪神淡路大震災 JR福地山線事故での現場トリアージなど
災害医療現場にて豊富な経験を持つ。

副部長 兼 集中治療センター長
金井 尚之



専門
領域

救急医学全般 多発外傷
腹部救急疾患 急性血液浄化法
消化器内視鏡治療

救急センター

救急科は、IF救急センターに搬入・来院される様々な内因・外因性の軽症・中等症傷病者、さらに脳卒中、急性心筋梗塞、消化管出血、腹膜炎、重症急性肺炎、重傷肺炎(急性呼吸不全)、急性薬物中毒、多発外傷、広範囲熱傷、熱中症、などの重症傷病者の初療に当たるとともに、病状によっては専門医と協力して初療に関わります。

救急車搬送傷病者においては、スピーディーに診察、処置と検査を行い、搬入から30分以内に診断をつけ、治療方針を決定するように心がけています。

集中治療センター

現在の集中治療センターは、病床数8床を有する開放型で、救急科の医師と各診療科の主治医が配置されており、協同して治療を行っております。3名の集中治療専門医と常勤看護師27名が配置されており、重症救急患者はもちろん、一般救急患者に対しても、常に各診療科と連携を取りながら最高の集中治療ができるよう配慮しております。

CCU(冠動脈疾患管理室)は一般的には個別に設置されることが多いのですが、当院ではより集中治療を高めるため、ICU(集中治療室)とCCUが併設されており、循環器科の医師も一緒に診療を行っております。

Message

救急科の2つの役割

救急科のスタッフは、専任常勤の医師4名、看護師35名、臨床工学士1名から成り、部長の切田、副部長の金井は「救急指導医」と「集中治療専門医」の資格を有するベテラン医師です。

その資格と経験を活かすべく、救急科の役割をご紹介します。1つ目は、救急車で搬入される、あるいは直接来院される緊急を要する傷病者を救急センターに受け入れ、スピーディーな診療・処置・検査を行うことです。搬入から30分以内に診断をつけ、治療方針を決定するように心がけております。救急で最も大事な時間は時間です。2つ目は集中治療室での重傷病者の診療に携わるとともに、病床管理を行うことです。救急での重症病患者様の対応連携を重視しております。

救急科(救急センター・集中治療センター)は、地域の基幹病院として、医療の最後の砦の使命を十分に果たしていきたいと考えております。

DATA ● データ紹介

平成21年度は、13,475件の救急患者様を受け入れました。

救急車による搬送4,986件、一般救急患者様8,489件を受け入れ、このうち、集中治療センターでは828件の患者様を受け入れました。

集中治療センターでの受け入れ患者様のうち、最も多かったのが、脳腫瘍や脳卒中などの脳神経外科の患者で、次いで心筋梗塞や心不全に対する循環器科の患者でした。

当院は、集中治療センターでクモ膜下出血や急性心筋梗塞その他の重症な患者を積極的に受け入れており、三次施設(救命救急センター)にも遜色のない対応をしています。

実際に、心肺停止の患者や重症の頭部外傷の患者に脳低温療法を施行したり、心筋梗塞や肺塞栓(エコノミー症候群)の患者に人工心臓装置を装着したりしています。



▲ 開放型の診療室



▲ 重症患者8名を同時に受け入れ可能

Report 2 東京警察病院 区民健康講座のご案内



▲ 高澤部長 直筆似顔絵

第2回「放置すると怖い糖尿病」には中野区の皆様を中心に総勢83名の方が参加され、スライドを使った解説がとてわかりやすい等、好評でした。

講師は、腎代謝科 高澤部長が担当。糖尿病の説明や、具体的な治療についての講座を開催致しました。参加者の皆様からは活発な質問があり、有意義な講座だったとの声をいただきました。



▲ 熱心に聞き入る参加者

● 区民健康講座開催日程&テーマ(予定) ※定員になり次第、申し込み締切りとさせていただきます。

	講座テーマ	担当講師	日時
第3回	「変形性関節症と人工関節」	整形外科 冬賀部長 古澤副部長	9月18日(土) 14時~15時30分
第4回	「乳がんについて~早期発見と治療~」	外科 長谷川部長	10月9日(土) 14時~15時30分
第5回	「喫煙とCOPD」	呼吸器科 丸茂部長	11月13日(土) 14時~15時30分
第6回	「生活習慣と食道がん~“のみ”すぎにご注意!~」	消化器科 小椋部長	12月11日(土) 14時~15時30分
第7回	「脳卒中について~治療と予防~」	脳神経外科 河野部長	1月22日(土) 14時30分~16時
第8回	「花粉症の治療について~予防と対策・かかったら~」	耳鼻咽喉科 篠上部長	2月19日(土) 14時~15時30分
第9回	「熱中症について~夏に向けての対策~」	救急科 切田部長	3月26日(土) 14時~15時30分

● 参加費&参加申し込みについて ※申込受付時間/8:30~17:00(月曜日~土曜日)

● 参加費…無料 ● 参加申込… 東京警察病院 健康講座事務局へお申し込みください。
TEL.03-5343-5611(内線14551)
ご不明な点につきましては事務局へお問い合わせ下さい。

※講座の詳細につきましては、変更の場合もございますので、病院ホームページをご覧ください。

ホームページアドレス: <http://www.keisatsubyoin.or.jp/>

Report 3 病院機能評価受審報告

財団法人 日本医療機能評価機構による第三者評価に受審し、審査体制区分3(ver.6.0)に認定されました。



◀ 審査風景



● 病院機能評価とは?

病院機能評価とは、第三者の機関(財団法人 日本医療機能評価機構)より認定されるもので、審査を受け、全ての基準を達成していることと評価された証です。

有効期間は5年間となっているため、認定を継続させるためには、5年おきに審査を受けることが必要となり、おのずと質を維持することが求められます。



▲ 審査風景

◀ 財団法人 日本医療機能評価機構 認定証(平成22年7月2日発行)



第1回
テーマ

知っておきたい
「お見舞いのタイミング」とは？

● ポイントチェック

その1

入院直後は避け、様子をきいてからお見舞いに行くようにします。
手術がある場合はその前後は避けるようにします。

その2

患者の家族や病院に、病気や怪我の様子や面会時間を尋ねてからお見舞いに行くようにしましょう。

その3

多人数で押しかけるのは病人にもご家族にもご迷惑となります。個室でない場合は同室の患者さんにも配慮をしましょう。

最も良いタイミングは？

お見舞いに向う場合の最も良いタイミングは、病状が落ち着き、回復に向かい始めた頃です。

長期の療養の場合のお見舞いは、患者の家族と相談して決めるようにします。



ご案内

お見舞いメールについて

● お見舞いメールとは？

東京警察病院では、入院されている患者様へ無料でお見舞いメールをお届けするサービスを行っています。皆様にお送りいただいたメール内容は印刷された上で、それぞれの患者様のお手元へお届けします。患者様とお見舞いの方双方に喜ばれるサービスです。

➔ お見舞いメールはこちら

当院ホームページの「お見舞いの皆様へ」より作成・送信してください。

● お見舞いメールの流れ



1 入院されている患者様にお見舞いメールを作成・送信

2 東京警察病院でお見舞いメールを受信

3 メール内容を印刷した上で患者様のお手元へお届け

ホームページアドレス：<http://www.keisatsubyoin.or.jp/>

診療のご案内

● 受付時間

	月曜日～土曜日	午前 8:00～11:30
		午後 12:30～16:00

	自動再来受付機 稼働時間…………… 7:30～16:00
	<small>※稼働時間前にご来院された場合は、再診整理券をお渡しします。</small>
	自動入金機 稼働時間…………… 8:30～17:00
	<small>※防災センター・自動入金機：24時間稼働</small>

● 診療時間

	月曜日～土曜日	午前 8:30～12:00
		午後 13:00～16:30

● 開館時間：7:00～18:00 (正面玄関)

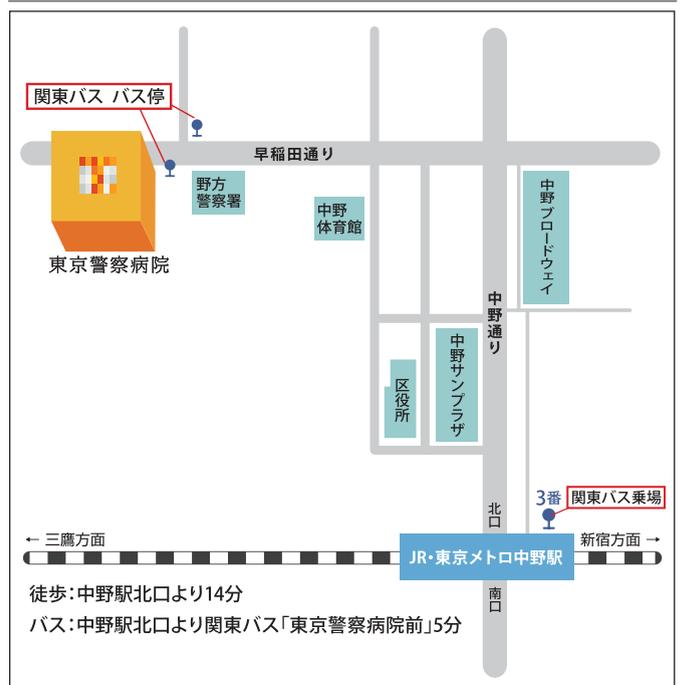
※防災センター (時間外) 出入口は24時間オープン

● 休診日 **日曜日・祝祭日・年末年始 (12/29～1/3)**

● 院内施設のご案内

- ◆ レストラン(9F) 利用時間：7:30～18:00
- ◆ コンビニエンスストア・ATM(1F) 利用時間：6:00～21:00
- ◆ 屋外駐車場 台数：119台 一般料金：200円/30分 受診者料金：100円/30分

地図



〒164-8541 東京都中野区中野4丁目22番1号
電話：03-5343-5611 FAX：03-5343-5612
<http://www.keisatsubyoin.or.jp/>

発行：東京警察病院 経営企画課
編集制作：(株)ハッピーキャスト